

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2016年1月14日（木）②

第606号 本号2頁

私たちの目標は「戦争法廃止」

そのために私たちは今、

2000万人統一署名を推進しつつ、

旺盛な国会論戦/「廃止法案」提出/真剣な野党間協議

を野党各党に強く求めます

そして、参院選—野党共闘で自公を少数に追い込みましょう

市民は団結！ 野党は共闘！

列島に広げよう 2000万人統一署名

成人の日の行動 1月11日（成人の日）を中心に、青年たちが青年に訴えるなどの行動が各地で取り組まれました。

ユニキタ（ユナイト&ファイト北海道）が式場前でシール投票も

北海道の青年たちでつくるユニキタのメンバー15人が11日、札幌市の成人式会場前で、2000万人署名と戦争法の賛否、今年夏の参院選で投票に行くかどうかのシール投票を呼びかけました。ユニキタのメンバー5人がマイクで、新成人に「自分たちがどういう社会をつくるのか、将来の日本をどうするのかいっしょに考えよう」などと訴えました。

シール投票では、「戦争法反対。戦争に巻き込まれるのはイヤ」などと70人が「反対」、10人が「賛成」に投票。選挙については、「行く」が57人、「行かない」が16人でした。

福島県農民連、民青同盟の仲間が宣伝署名行動

10日に行われた福島市の成人式の会場前で、農民連と民青同盟の仲間とくまがい智彦日本共産党参院福島選挙区候補が署名を訴えました。「社会を変えたいから選挙にはいく。20歳になったのでよく考えたい」、「戦争法は絶対だめ。教員をめざしているが、教え子が戦争に行かされるようにならないか心配」などと話しました。

民青同盟の「2016 青年の主張」シール投票も取り組み、予想を超える投票がありました。

福島市田沢・清水町・蓬萊町総がかり行動実行委員会が行動、1時間で136人の署名

地域のスーパーの一面を借り、田沢・清水町・蓬萊町総がかり行動実行委員会は10日、2000万人署名を訴えました。

「憲法違反の法律は直ちに廃止だ」といいつつ署名する人や、子どもに「あなたたちもしなさい」と促すお母さんもいました。1時間の行動で136人の署名が寄せられました。

同実行委員会は昨年暮れから行動し、今回が2回目、19日にも行動を予定しています。10日ま

でに集めた署名は 326 人分です。

静岡県葵区の繁華街で署名レッドアクション

11 日、「戦争は許しません女性のレッドアクション静岡実行委員会」が主催して、2000 万人署名を呼びかける行動が静岡県葵区で取り組まれました。行動には新日本婦人の会の会員、保育士、教員、国賠同盟の会員、労働組合からなど約 50 人が参加。赤いものを身に着けた女性を先頭に、「誰の子どもも殺させない」「安倍政権の暴走を止めよう」などとコールしました。声をかけたところ、戦争法を知らなかった青年が「やっぱり戦争はいや」と署名し、高校生のカップルも「将来は幸せになりたい。戦争のない安全な生活が第一」と署名、中学生 3 人組も「安倍首相は勝手すぎる」と語っていました。

富山—70 人のレッドアクション、ずらり並んで訴え

富山駅南口で 11 日、「女性のレッドアクションとやま実行委員会」が戦争法廃止のスタンディングアピールに取り組みました。赤いものを身に着けた参加者は 70 人。ずらりと並んで訴えました。参加者全員で何度も「戦争法は絶対廃止」「誰の子どもも殺させない」などとコールしました。

参加者は行動後、自民党改憲草案の危険性についての学習会を行いました。

佐賀でシール投票と 2000 万人署名—民青同盟、SAGA 青年革新懇

佐賀県の民青同盟は 11 日、佐賀市の成人式会場前で 2000 万人署名とシールアンケートを呼びかけました。「戦後 70 年戦争で犠牲者を出さなかったが、これからどうなるかわからない。安倍首相は国民の声に耳を貸そうとしていない」と新成人の男性が署名しました。

SAGA 青年革新懇は、唐津市の成人式会場前でシールアンケート。「参院選に行くか」の問いに、「行く」が 66 人、「行かない」が 30 人、「わからない」が 42 人と応えました。

36 回目の火曜行動 千葉県憲法会議と憲法共同センター

千葉県憲法会議と戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす千葉県共同センターは 12 日、JR 千葉駅前で 2000 万人署名に取り組みました。毎週火曜日の行動は昨年から欠かさず続け、この日の行動で 36 回目となりました。

憲法会議と憲法共同センターの参加団体の代表が次つぎ訴えました。「アメリカの戦争に加担してほしくない。参院選では野党が連合して勝ってほしい」と署名したバス運転手、「ぼんやりしていたら戦争になりそう。この署名を生かしてほしい」と署名した 2 人の子ども連れのお母さんもいました。

戦争法廃止、憲法守る 兵庫共同センターが総会

憲法改悪ストップ兵庫県共同センターは 11 日、150 人が参加して第 12 回総会を開催しました。

総会では、和田進神戸大学名誉教授・兵庫県憲法会議代表幹事が講演し、安倍政権によって「米軍と共に地球規模で戦争する国」に大転換させられたこと、しかし国民の 6 割は戦争法に反対であり、この「社会的多数派」が選挙共闘によって、「政治的多数派」になることを呼びかけました。

小田川義和全労連議長も講演しました。小田川議長は市民運動と政党との新しい関係や「市民連合」結成の動きを報告、2000 万認署名達成を訴えました。

和田邦夫共同センター事務局長は、有権者の 20%などの署名目標をそれぞれの地域で明確にしてとりくむこと、19 日の統一宣伝行動などを提起しました。

国会は、明日 15 日から参院予算委員会で補正予算の質疑が行われます。